

米国労働運動に学ぶ

バーバラ・マデローニ氏来日！

前マサチューセッツ教員組合（MTA）委員長、現在レイバーノーツのスタッフをつとめるバーバラ・マデローニ氏が来日するにあたって、公開学習会を開催します。

マデローニ氏は公立高校での教員を経て大学の教員養成課程でも教鞭をとり、MTAの執行部選挙で改革派の委員長として当選。改革派が少数の中で、チャータースクール増設を阻止する州民投票を成功させるなど、職場からの運動を組織する組合改革に取り組みられました。退任後はレイバーノーツのスタッフとなり、全米各地の進歩的、改革派の労働組合の学習教育の支援、ワークショップの開催などに取り組んでいます。また、米国の新自由主義的教育改革の実態とそれを跳ね返す労働組合運動の動き、近年のスト拡大などの労働組合運動の高揚、また教員以外の運動を含め組織化モデルのあり方、教育訓練のあり方などについて造詣が深い方です。



公開学習会 その1

「米国の労働者はなぜ立ち上がっているのか-その背景」

近年続く米国の労働者のストライキ、アマゾン、スターバックスをはじめITなどで進む新しい組合の組織化の背景は何か？労働者の力（パワー）を引き出し、労働者の組織しながら運動を進めていくために米国の労働組合は何をしているのか。レイバーノーツの実践を通じて考える。

★開催日時:2022年12月22日(木)17:30-20:30 (終了予定)

★会場:全労連会館2階ホール 及びオンライン(Zoom)

★事前登録:会場・オンラインともに下記から参加申込してください

<https://forms.gle/LPZCuyR3rc4YTepBA>



公開学習会 その2

「労働者自身が立ち上がるために一オグの役割と教育・訓練」

米国では、オルガナイザーが集中的に入って新しい組合やキャンペーンを組織していくスタイルから、労働者・当事者がオーガナイズングをする組織化モデルへの転換によって青年を中心に組織化がすすんでいる。全労連運動を組織化モデルに基づいた運動に転換するために、徹底的に労働者主導の組織化にこだわるレイバーノーツのメソッドを学び、日本への示唆を考える。

★開催日時:2022年12月23日(金)14:00-17:00 (終了予定)

★会場:全労連会館2階ホール 及びオンライン(Zoom)

★事前登録:会場・オンラインともに下記から参加申込してください

<https://forms.gle/Q3a2vJtDgX4WE7mq7>



ORGANIZE!